

# ヘルスケア産業に求められるもの

参加費  
無料

定員 100名

とやまヘルスケア・スマートライフ産業研究会

## キックオフ講演会

高齢化が進む中、健康管理と病気・介護予防、自立支援に軸足をおいた、健康・医療・介護システムの構築が求められています。IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、シェアリングエコノミー等を活用し、新たな付加価値や製品、サービスの創出を目指して共に考えていきます。

日時 2018  
**2/2** [金]  
13:30~16:40 受付13:00

会場 **ホテルグランテラス富山**  
**4階 瑞雲の間**  
富山市桜橋通り2-28  
TEL 076-431-2211

### プログラム

**開会挨拶** 13:30~13:40

経済産業省中部経済産業局 電力・ガス事業北陸支局  
地域経済課長 **原 幸彦**

**講演1** 13:40~14:10

**「生涯現役社会実現に向けたヘルスケアサービス創出の取り組み」**  
経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課  
**平木 康幸氏**

**講演2** 14:10~15:30

**「健康に関心の薄い顧客の行動変容に向けたサービス研究」**  
国立研究開発法人 産業技術総合研究所  
人間情報研究部門 部門長 **持丸 正明氏**

**休憩** 15:30~15:40

**県内企業最新事例紹介** 15:40~16:30

〈事例1〉ライフケア技研株式会社 〈事例2〉株式会社オーギャ

**閉会挨拶** 16:30~16:40

主催 経済産業省中部経済産業局 電力・ガス事業北陸支局

後援 富山県

お問い合わせ先 (公財)富山県新世紀産業機構 産学官連携推進センター

〒930-0866 富山県富山市高田529 TEL 076-444-5608

厚労省調査によれば、日常的に健康維持増進に効果のある身体活動をしている人は3割であり、過去10年間変化がない。ウェアラブルセンサなどで心身状態を可視化し、目標を小刻みに達成することで健康を維持しようと考えている達成型の顧客層ばかりではない。そうでは無い7割の人の行動を変容、持続させるためのサービス研究の取り組みを紹介する。

仲間との共感を重視する顧客層に対しては、センサや身体機能拡張技術を組み合わせたスポーツプログラム研究を、社会認知を重視する顧客層には情報発信・共有・相互評価型の情報支援サービス研究を、さらに、無関心層に向けては家庭や就労の日常生活そのものを健康維持増進行動に繋げていくための環境プラットフォーム研究を進めている。

企業との共同研究事例、プロジェクト事例を通じて、研究動向を紹介する。また、製造業がサービスを統合したビジネスにシフトしていくための障壁と対策について述べ、サービスビジネスを通じて得られるデータを知識化、企業価値化していくためのデータデザインの枠組みを提案する。

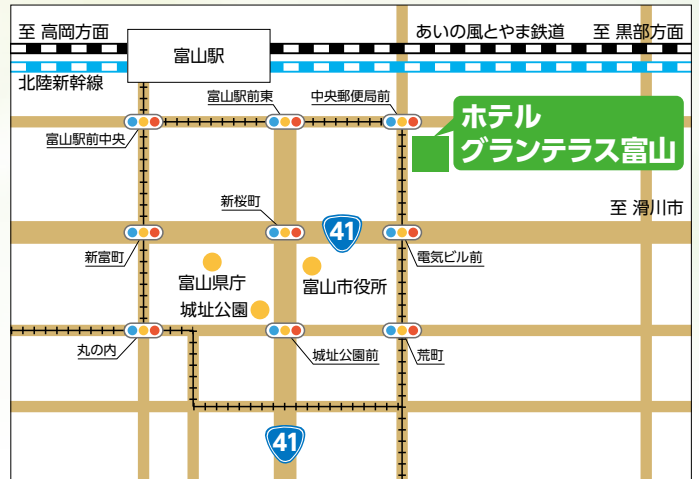
## 講師紹介



国立研究開発法人  
産業技術総合研究所  
人間情報研究部門 部門長  
**持丸 正明氏**

1993年、慶應義塾大学大学院博士課程 生体医工学専攻修了。博士（工学）。同年、工業技術院生命工学工業技術研究所 入所。2001年、改組により、産業技術総合研究所デジタルヒューマン研究ラボ 副ラボ長。2010年、デジタルヒューマン研究センター長。2015年より、現職。専門は人間工学、バイオメカニクス、サービス工学。2008-2016年、ISO TC159/SC3国際議長。2014年より、消費者安全調査委員会・委員長代理。

## 会場案内



ホテルグランテラス富山 4階 瑞雲の間  
富山市桜橋通り2-28 TEL 076-431-2211

# キックオフ講演会 参加申込書

必要事項をご記入のうえ、FAXにてお申込みください。

**FAX 076-444-5630**

事務局／(公財)富山県新世紀産業機構 産学官連携推進センター

お申込み締切

**1月31日(水)**

企業名・団体名			
TEL		FAX	

氏名	役職	所属部署・メールアドレス
		e-mail
		e-mail
		e-mail
		e-mail